

心豊かでたくましい児童生徒を育む

小中一貫教育をめざして

シリーズ えでゆれば vol.25

小中一貫教育の新たなステージへ

4月に三戸中学校（丸岡博校長）が三戸小学校（山内一雄校長）の敷地内に移転し、連携校の斗川小学校（笹本一人校長）と3校を総称する「小中一貫三戸学園」（丸岡博学園長）が開校しました。

同じく、これまで施設一体型の小中併置校であった杉沢小学校と杉沢中学校も「三戸町立杉沢小中学校」（四戸康彦校長）と呼び名を定め、三戸町の小中一貫教育は新たなスタートを切りました。（正式な学校名と小中一貫校としての呼び名は次のとおりです）

学 校	小中一貫教育校の名称
三戸町立三戸小学校	小中一貫三戸学園
三戸町立斗川小学校	
三戸町立三戸中学校	三戸町立杉沢小中学校
三戸町立杉沢小学校	
三戸町立杉沢中学校	

今回は新年度を迎えた各学校のようすや、送迎の車両が増加した梅内地区の通学のようなすをお伝えします。

小中一貫三戸学園（三戸小・三戸中）

4月8日、三戸小学校と三戸中学校では、初めてとなる合同での入学式が行われました。（詳細は5ページ「まちのわだい」をご覧ください）丸岡学園長は「9年間で子どもを育てることをキーワードに、新しい校訓である立志・向学・健康の具現化のため、全校職員が一丸となって小中一貫教育を推進していく」とあいさつしました。

6月1日には、初めてとなる合同の体育祭が予定されています。



ランドセルを背負った小学生と制服を着た中学生が一緒に登校

小中一貫三戸学園（斗川小）

三戸小学校や三戸中学校と一貫教育を行う斗川小学校では、4月6日に入学式が行われ、7名の新入生が加わり児童数は47名となりました。式で笹本校長は「7年生へスムーズに進めるように、全職員が責任と情熱を持って取り組む」とあいさつしました。

今年度は、5年生の宿泊学習（種差少年自然の家）を三戸小学校と合同で行う他、お互いに話し合い、連携校としての交流を行う予定です。



斗川小学校にも小中一貫三戸学園の看板が掲げられました

三戸町立杉沢小中学校

4月8日、杉沢小中学校では、1年生1名と中学1年生に当たる7年生4名の入学式が行われ、児童生徒数は19名となりました。四戸校長は「1年生は元気なあいさつ、たくさん本を読む、丈夫な体を作る、7年生は一生懸命勉強する、心や体を鍛える、他のために頑張れる人間になる、それぞれ3つのことを約束してください」とあいさつしました。

梅内地区の 通学時間のようす

杉沢小中学校の入学式のようす



三戸中学校が三戸小学校の敷地内に移転し、この2つの学校に登校する児童生徒数は665名となりました。

現在の三戸小学校が完成した昭和60年度の全校児童数898名に比べると少ない人数ではありますが、学区が広がったことや自家用車の保有

台数が倍増したなどの理由もあり、保護者の送迎で登校する児童生徒が多くなっています。

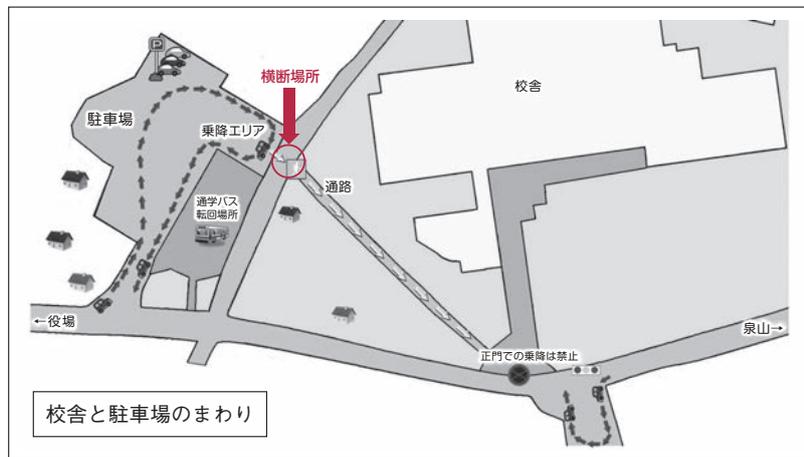
町では、子どもたちの安全確保と交通渋滞緩和のため、駐車場予定地の一部を仮整備して利用を開始し、出入口付近には複数の誘導員を配置しました。



駐車場入口の誘導のようす

見通しの悪い正門前での乗降はせず、役場方面からの送迎車は駐車場の乗降エリアで子どもを降ろします。車から降りた子どもは、新たに整備した歩道を通って正門前に抜けるために、道路を横断することにな

ります。

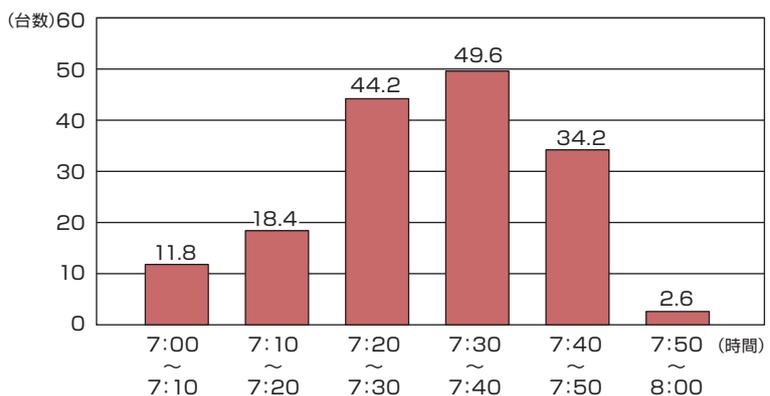


校舎と駐車場のまわり

4月8日から12日までの5日間、時間帯別に送迎車の台数を調べました。結果は次のグラフの通りです。

晴れの日が続いたこの5日間でも、ピーク時には車が駐車場の出口に並ぶ光景が見られました。雨の日にはさらに台数が増えることが予想されますので、時間に余裕をもって登校してください。

■ 時間帯別に見た駐車場へ入る送迎車台数(4月8日~12日の平均)



町も子どもたちの安全確保を最優先し、学校の登下校指導とあわせて工夫・改善に努めていきます。

通勤などで通学路付近を運転するドライバーの皆さま、思いやりの運転にご協力ください。よろしくお願いたします。